

西宮市立中央病院だより

Vol.133

〒663-8014 西宮市林田町8番24号 ☎0798-64-1515(代表)・☎0798-64-1540(地域医療連携室) FAX0798-67-4811・FAX0798-67-4896(地域医療連携室)
ホームページ <http://www.hospital-nishinomiya.jp/>

基本理念

市民に期待され、親しまれ、信頼される病院であるよう、

- 一、患者さま中心の心温かな病院をめざします。
- 二、医学の進歩に対応し、質の高い総合的な診療をめざします。
- 三、地域医療機関との連携、保健、福祉との協力のもとに市民の健康を守ります。
- 四、開かれた病院として、市民・医療関係者の生涯教育の充実に努めます。

口腔前癌病変について



歯科口腔外科 主任部長 網野 かよ子

口腔粘膜の異常を主訴に当院口腔外科を受診していただくなかで、やはり関心が寄せられるのは癌化する可能性があるか、否かであると考えられます。

口腔粘膜の前癌病変の代表的なものとしては白板症、紅板症があげられますが、全てが癌化するわけではありません。白板症の癌化率は4.4~17.5%、紅板症の癌化率は40~50%と報告されています。

白板症

口腔粘膜に生じた摩擦によって除去できない白色の角化病変で、臨床的、病理組織学的に他のいかなる疾患にも分類されない白斑と定義されています。臨床的には舌縁、舌下面、口底に発生した白板症で、潰瘍、凹凸不整なひびわれ、腫瘤状の変化が存在する場合は癌化率が高く、すでに上皮内癌を発生している場合があります。

真の病因は明らかにされていませんが、局所的に継続的に作用する物理的、化学的刺激、たとえば、たばこ、アルコール飲料、歯の鋭縁刺激などがあげられています。他の白色変化を示す扁平苔せんやカンジダ性口内炎との鑑別が必要です。

まず誘因と考えられるものがあれば除去し、その後、生検を行います。



白板症

(カラーアトラス口腔粘膜の病変)
医歯薬出版株式会社より引用

2015年7月 西宮市立中央病院 診療科・診療担当医一覧表

※外来診療受付時間 月曜～金曜 午前8:30～11:00(初診・再診) 午後1:00～3:00(予約・専門外来)

☎663-8014 西宮市林田町8番24号 〇各科責任者 0798-64-1515(代表) ()内線番号

Table with columns for departments (内科, 外科, 消化器センター, etc.) and rows for days of the week (月, 火, 水, 木, 金).

Table with columns for departments (内科, 外科, 消化器センター, etc.) and rows for days of the week (月, 火, 水, 木, 金).

● 患者様のご紹介について 地域医療連携室(内線 186)

○地域医療連携室へ当院所定の「診療情報提供書」をFAXでご送付ください。

(FAX) 0798-67-4896

受付時間 平日8:30～19:00

但し、CT・MRI等の検査予約の受付は8:30～17:00となります。

○当院の医師に直接お電話くださるか、従来どおりの紹介状によっても診察いたします。

○紹介状をお持ちの患者様も、事前に予約を入れていただきますと、待ち時間短縮につながりますので、ご協力をお願いいたします。

○当院の診療結果をFAX等でご報告いたします。

● 南都事業管理者が循環器外来を開始

平成27年7月15日より毎週水曜日の午後において、南都事業管理者の循環器の外来診療を開始します。

狭心症・心筋梗塞・閉塞性動脈硬化症等でお困りの患者さまをご紹介下さい。

<南都事業管理者プロフィール>

- ・平成26年4月西宮市の病院事業管理者に就任。
・大阪大学大学院医学系研究科 先進心血管治療学寄付講座教授を平成27年3月退官。
・循環器カテーテルインターベンション治療の先駆者。

※特診

● 救急体制のご案内 ～平日の夜間及び土曜日もご紹介を承っております～

Table with columns for time periods (区分) and days of the week (月曜日, 火曜日, etc.).

※■(網掛け部)は、診療所のバックアップを目的として、当院が輪番枠とは別に独自に行っている2次救急です。

※□(網掛け部以外)は、輪番で行っている1次・2次救急です。

※金曜日の内科・外科2次救急に関しては、月によって輪番を担当する週が変わる場合があります。

● 糖尿病教室のご案内

医師をはじめ医療関係者が説明を行います。予約や受講料は不要です。

<実施日時>
・奇数月:水曜日(月4回)
・偶数月:木曜日(月4回)
午後3時～午後4時30分頃

<実施場所>
3階 講義室

紅板症

発赤したビロード状の変化として生じる病変で、白板症と同様に他のいかなる病変とも臨床的、病理学的に関連性が見出せないものと定義されています。好発部位は頬粘膜、舌、口蓋、口底、歯肉などです。臨床的には均一に紅色を示す病変で、外傷性紅斑、カンジダ症の赤色病変、口内炎と鑑別が必要です。高率に癌化することを念頭におき、速やかに生検、その後外科的切除を行います。



紅板症

(カラーアトラス口腔粘膜の病変)
医歯薬出版株式会社より引用)

口腔癌の治療には早期発見が重要であることは他の癌と同様ですが、視診では早期診断が難しいこともあります。このような場合は計画的、積極的に生検を行うことが重要です。タイムリーに生検を行い、早期診断、早期治療に努めていきたいと考えています。

今後とも歯科口腔外科をよろしくお願いいたします。

看護外来：ストーマケアのご紹介



皮膚・排泄ケア認定看護師 岸田 智子

当院では皮膚・排泄ケア認定看護師によるストーマケア外来を毎週木曜日午前中（予約制）に行っていますのでご紹介します。



たくさんのストーマ装具の中から患者さまのQOLに合った装具を選択をしています

近年、大腸がんの患者さまは増加の一途を辿っており、それに伴いストーマを造設される患者さまも増えていきます。また IBD（炎症性腸疾患）の患者さまも増加しており、若い世代でストーマを造設される方が多くなりました。

ストーマケア外来ではストーマの身体的な観察やセルフケアの指導だけではなく、手術を受けられる前の患者さまへストーマの説明を行ったり、社会復帰に向けて不安の軽減を図れるような精神的ケアにも重点を置いています。10代でストーマ造設をされる患者さまには学校の先生方と連携し、学校生活での注意点や物品の工夫を提案しています。また高齢の患者さまや介護が必

要な患者さまには、地域医療連携室の退院支援看護師や MSW（医療ソーシャルワーカー）と協働して患者さまの意向に沿った社会生活がスムーズに行えるようお手伝いをしています。

超高齢社会へと突入し在宅でのケアがさらに重要視されています。地域の医療機関・施設の皆様に協力していただいてストーマ保有者（オストメイト）へよりよい環境の提供ができるよう取り組んでいます。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



ストーマケア外来の診察